

# 福井県陶芸館(1/2)

## 「いやしの広場」陶芸館へお越してください！

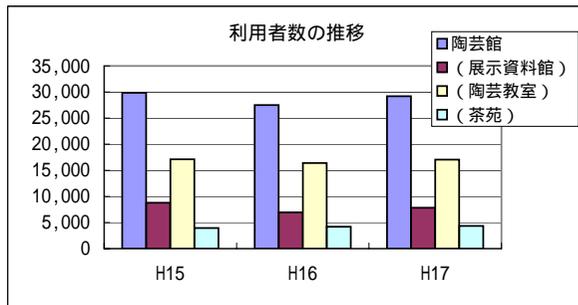
所在地	丹生郡越前町小曾原120-61		
設置年月日	昭和46年4月1日		
施設の種類	陶芸館	施設管理主体	県
設置の目的	越前焼を「見る」(展示資料館)、「作る」(陶芸教室)、「使う」(茶苑)の3つの体験により、越前焼の振興を目的とする。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造2階建 延2,188.65㎡ 資料館・陶芸教室・茶苑・日本庭園(幽石庭)		
職員数	正職員7人、非常勤嘱託5人 アルバイト1人 計13人		

### 利用状況等

	H15	H16	H17
陶芸館	29,857	27,512	29,200
(展示資料館)	8,796	6,933	7,818
(陶芸教室)	17,104	16,394	17,042
(茶苑)	3,957	4,185	4,340

### 利用者負担(利用料金)等

入館料 (常設展)	大人	100円
	高校・大学生	無料
	小・中学生	無料



利用状況の推移	近年、利用者は減少傾向にありましたが、顧客主義の徹底を図り利用サービスの向上に努めた結果、平成17年度は資料館については約13%、陶芸教室については約4%、茶苑については約4%、合計では約6%増加しました。
---------	---

### 平成17年度の特徴について

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民文化祭茶道フェスティバルの会場として茶苑が利用され、10月22日・23日、4席で1,200人の入席がありました。</li> <li>・国民文化祭に協賛し、特別展「万古焼と越前焼展」に1,802人の入場がありました。</li> <li>・陶芸に関するわかりやすい講座として、「陶芸よもやま話講座」を16年度より開催しています。</li> <li>・陶芸教室において、6月「花入れ作り」、8月「親子ふれあい教室恐竜作り」、9月「皿作り」、11月「来年の干支づくり」、1月「土雛づくり」など、年間を通した季節感のある楽しい企画を実施しました。</li> <li>・「電動ろくろ初級講座」、「電動ろくろ中級講座」を実施しました。</li> <li>・てひねりコースや絵付けコース等の陶芸の体験ができます。</li> <li>・越前焼の茶碗を使った抹茶点出しを行っています。</li> <li>・展示資料館は約8千人、陶芸教室は約1万7千人、茶苑は約4千人、計29千人以上の利用がありました。</li> </ul>
------	--

平成17年新緑の頃の茶室(越知庵)の写真



## 福井県陶芸館(2/2)

### 行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

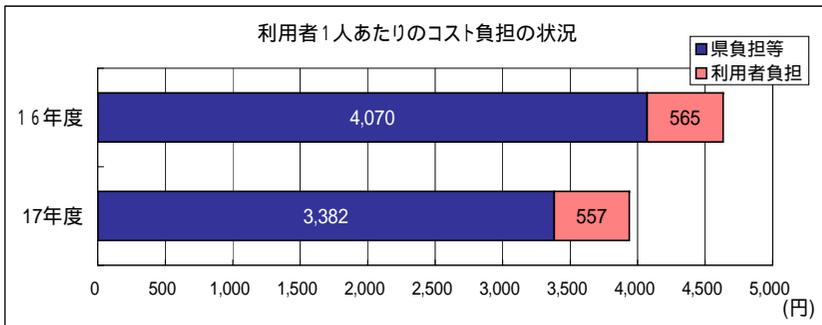
	総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	78,347	68.1%
	退職給与引当金繰入	7,680	6.7%
	計	70,667	61.4%
物にかかるコスト	物件費	36,262	31.5%
	維持補修費	3,704	3.2%
	減価償却費	3,187	2.8%
	計	43,153	37.5%
その他	公債費(利子)	0	0.0%
	その他	1,186	1.1%
	計	1,186	1.1%
合計	115,006	100.0%	90.2%

### バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産	前年比		負債	前年比	
有形固定資産	496,996	100.5%	固定負債	47,340	86.0%
投資等	0	-	流動負債	0	-
流動資産	0	-	正味資産	449,656	102.4%
計	496,996	100.5%	計	496,996	100.5%

(単位 千円)			
収入	利用料等収入	16,274	14.2%
	その他収入	5,751	5.0%
	一般財源	92,981	80.8%

(前年比)		
利用料等収入計	16,274,000 円	104.6%
利用者1人あたり平均利用料	557 円	98.6%
利用者1人あたりコスト	3,939 円	85.0%



バランスシート、行政コスト計算書の特徴	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置が、展示資料館が昭和46年、陶芸教室が昭和47年、茶苑が昭和48年と古く、減価償却費の割合が低くなっています。</li> <li>利用者の増加によって、利用者1人あたりのコストが減っています。</li> </ul>

(資料館の越前焼の展示)



施設の特徴	大人から子どもまで楽しく越前焼(陶芸)を体験できます。

今後の課題	平成17年度は利用者が増加傾向にあり、県外からの誘客促進とリピーターの確保等、より魅力のあるサービスを充実し、経営的視点に基づいた積極的な集客が課題となっています。

(陶芸教室風景)



今後の事業方針	県民のゆとりあるライフスタイルへの志向や民間企業の社員の福利厚生事業の一環として、陶芸館を通年型で活用できるよう、従来のてひねりコース等だけではなく、「陶芸よもやま話講座」や「電動ろくろ講座」、「灯り取り講座、干支づくり」等の四季折々の企画を展開し、リピーターや本物志向の利用者のニーズにも適合した、楽しい企画を展開していきます。
取組み内容	<p>特別展で産地間交流を促進していきます。</p> <p>また、丹南地域の伝統的工芸品産地(越前焼、越前漆器、越前和紙、越前打刃物)との連携により、相乗効果を得られるような利用促進へ向けた取組みの検討を始めています。</p> <p>さらに、陶芸館利用者の利便性の向上を図るため、入館料等についてクーポン制度を導入することにより、より一層の利用者の増加を目指します。</p>